

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	平 良 識 子 (社 大 党)	1 待機児童解消について	那覇市の公立保育所、認可保育園の入所待ち状況は、844 人（9 月 1 日現在）。さて本市の那覇市園長会が所属認可園 61 園に対して実施したアンケートによると、分園、新設、増築により、1,045 人が新たに受け入れ可能であることが分かった。以下、伺う (1) 待機児童数の実態について、全国比とりわけ他中核市との比較と評価について (2) 公共施設を活用した保育園設置について、既存施設（銘川庁舎、とまりんなど）活用の可能性について
		2 児童手当の窓口業務について	(1) 児童手当の現況届提出から支給決定にかかる窓口業務の対応について、受給者へ提出期限、受給決定まで、どう案内し対応しているのか (2) 現況届提出者の数と不備書類についての案内の時期と件数について伺う (3) 現況届提出者のうち案内対応の遅延により 10 月に支給できない件数を伺う
		3 那覇市民会館について	市は、新那覇市民会館を久茂地小学校跡地に建設決定したとしているが、この決定過程において、協働のまちづくりの観点より、自治会及び地域住民への説明、話し合い、合意形成は図ったのか。今後はどうするのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 ワークライフバランスについて	那覇市職員における男性の育児休業制度の活用状況について、5年間の推移について伺う
		5 動物愛護行政について	(1) 本市より発生した犬猫の殺処分件数と、全国比について伺う (2) 観光環境および命を大切にする平和の視点から、猫の不妊去勢の一括交付金の活用を提案する。見解を伺う
		6 海外事務所の設置について	那覇市の今後の経済政策を進めるにあたり、県と連携した海外事務所の設置を提案しているところだが、進捗状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、政策統括調整監、関係部長

一般質問（３日目） 平成 25 年 9 月 18 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	前 田 千 尋 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 国指定重要文化財新垣家住宅の保存修理事業について 2 観光と道路整備事業について 3 図書行政について 4 久茂地小学校と前島小学校の統廃合問題について	保存修理の進捗状況と今後の計画について問う (1) 歴史散歩道整備事業の計画について問う (2) 都市計画道路牧志壺屋線での信号設置計画について問う (3) 都市計画道路牧志壺屋線での観光バスなどの乗降場の設置について問う (1) 那覇市における図書行政の役割について問う (2) 松江市教育委員会が漫画「はだしのゲン」を閲覧禁止にし、のちに制限を撤回した。平和の継承の重要性と共に、言論と表現の自由や教育の自由への侵害は許されない。見解を問う 久茂地地域の声を無視し、統廃合計画が進んでいる。「学校を残せ」の声は、地域と子どもたちの声である。学校を廃校にすることは、地域をこわし、切実な声を無視するやり方であり、許されない。見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 25 年 9 月 18 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	奥 間 亮 (自 民 党 新 風 会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 防災について 2 協働のまち づくりにつ いて	本市における防災への取り組みについて (1) 「特別警報」の概要について伺う (2) 本市の防災無線の設置状況と稼働状況 について伺う (3) 認定自主防災会の概要と活動状況につ いて伺う (4) 本市としての今後の防災についての課 題と取り組みについて伺う 協働のまちづくりの取り組みについて (1) これまで行われてきた協働のまちづく り事業と、その結果及び効果について見解 を伺う (2) 「協働大使」の概要と委嘱状況について 伺う (3) これまであった協働のまちづくり事業 補助金予算が、今年度から計上されていな い理由と、その経緯について伺う (4) 協働のまちづくりにおける、企業と本市 との関わり及び協力体制について伺う (5) 協働のまちづくりの、今後の課題と取り 組みについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 25 年 9 月 18 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	中 村 圭 介 (無所属の会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	観光行政について	観光振興と公共交通の境界にある観光バスについて、特に国際通りにおける乗降場、待機場所について (1) 観光振興における観光バスの重要性について当局の認識を伺う (2) 市内の観光地において観光バスのインフラ整備に行政がどの程度関わるべきだと考えているのか伺う (3) 国際通り周辺での観光バスはどのように議論されてきたのか伺う (4) てんぶす那覇横の牧志壺屋線での観光バス乗降場整備の可能性について。またその際の地域への説明はどのように行うつもりか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 25 年 9 月 18 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	金 城 眞 徳 (自 民 党 新 風 会)	教 育 行 政 に つ いて	(1) 城東小学校の学習環境上問題のある 2 年生の教室と、地域学校連携施設が学校教育活動の使用により、地域住民の利用に影響が出ていることについて、その改善策を伺う (2) 現在、ベランダとして使っているスペースが 4 ヶ所ある。そこを教室棟に増設できないか伺う (3) 指定校変更制度と隣接校選択制度の説明、そして城東小学校隣接校選択制度による児童数について、増減の見込みはどうなっているのか伺う
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)		【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 平成25年9月18日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	喜 舎 場 盛 三 (公 明 党)	1 子ども若者 行政について	(1) 社会的自立が困難な子どもや若者について、今大きな問題となっていることから平成22年4月1日より「子ども・若者育成支援推進法」が施行されたが、その概要を伺う (2) 本市において、ニートやひきこもり等の社会的自立が困難な子どもや若者の支援はどのように取り組まれているのか伺う (3) ニートやひきこもり等、困難を抱える若者支援を行うために、教育・福祉・保健・雇用その他の各分野の関係機関からなる地域におけるネットワークの構築が望まれているがどのように取り組まれているのか伺う
		2 防災行政について	(1) 「災害対策基本法改正案」が成立し、災害時に自力で避難することが難しいお年寄りや障がい者など「災害時要援護者」の名簿作成が市町村に義務付けされているが、本市における災害時要援護者支援の取り組みと課題を伺う (2) 東日本大震災では避難生活が長期化したことで、病気や体調の悪化などで特に高齢者が多く亡くなっていることから、福祉避難所の整備の取り組みが必要となっているが、本市の状況を伺う
		3 健康行政について	(1) 沖縄県民の健康が危機的状況であることから、県は「健康長寿おきなわ復活推進本部」を発足させるなど取り組みを始動させているが、市民の健康についての本市の取り組みと計画を伺う (2) 本市の運動習慣獲得促進事業が廃止となったが理由を伺う

一般質問（２日目） 平成 25 年 9 月 18 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 交通行政について	末吉老人福祉センター前の市道が、川の工事終了後、幅員が狭くなり、その為、老人福祉センターから車を出す際、危険性が増しているが対応できないか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 25 年 9 月 18 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	桑 江 豊 (公 明 党)	1 選挙行政について	7 月 21 日に実施された那覇市議選・参議院選について以下伺う (1) 同日選挙になった理由並びに実施後の総括 (2) 大型商業施設における期日前投票実施の成果と課題
		2 空き家行政について	管理不全な空き家対策について以下伺う (1) 本市における管理不全な空き家の数 (2) 関係部署（環境・火災・防犯 etc）調整会議の開催状況と対策の進捗 (3) 空き家に特化した条例制定に対する見解
		3 市民行政について	消費者被害について以下伺う (1) 消費者被害とは (2) 本市における被害件数・被害額 (3) 本市の対策・取り組み
			【答弁を求める者】 市長、副市長、選挙管理委員長、関係部長

一般質問（３日目） 平成 25 年 9 月 18 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	古 堅 茂 治 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 沖縄振興特別推進交付金（沖縄振興一括交付金）について 2 学 童 保 育 (児童クラブ)について 3 観光行政について 4 公衆トイレの増設・改修について 5 交通・道路行政について	(1) 沖縄振興一括交付金の活用状況を問う (2) 9月補正予算案では子育て支援などへの沖縄振興一括交付金活用が特徴となっている。教育、子育て、福祉分野へ沖縄振興一括交付金活用をさらに促進すべきと考えるが見解を問う 放課後の小学生の過ごし方等の実態や、学童保育（児童クラブ）に対する保護者のニーズを把握し、今後の放課後児童対策に活用するためを目的とし、2月に実施した実態調査を受けて、今後の施策にどう反映させていくのか問う 那覇市観光協会・関係者のがんばりで評価が高い「那覇まちまーい」の参加者数の推移、地元参加者割合、経済効果を問う (1) 市民生活、観光振興に資するために、沖縄振興一括交付金を活用し、洋式化など公衆トイレの改修や増設をすべきではないか。見解を問う (2) 那覇の中心にある商店街に、高齢者が1階で利用できる公衆トイレを設置すべきではないか。見解を問う (1) 福祉施設が集積している石嶺福祉センター線へのバス路線新設・低床バス運行について問う (2) 2012年2月16日都市計画決定した城北中学校側から石嶺線まで110mの「石嶺駅前線」の早期着工を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 平成25年9月18日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	宮 平 のり子 (社 民 党)	1 市長の政治 姿勢について	集団的自衛権について政府は、国際法上は集団的自衛権を有しているが、憲法 9 条で許容される自衛権の行使は我が国を防衛するため必要最小限度の範囲にとどまるべきで、集団的自衛権の行使はその範囲をこえ許されないとしてきた。平成 16 年第一次安倍政権では、いかなる場合が憲法で禁止されている集団的自衛権の行使に該当するか、よく研究していくとした。今、安倍内閣においては、憲法解釈を変更し、集団的自衛権の行使容認に踏み出そうとしている。日米安保条約は必要と明言、沖縄の自民党を代表する翁長市長に安倍政権の集団的自衛権行使容認について見解を問う
		2 戦後処理について	沖縄戦から 68 年が経過、沖縄戦の遺骨、不発弾は今なお出土しており沖縄の戦後処理は続いている状況にある。以下何う (1) 沖縄戦の犠牲者数について(軍人、沖縄県民) (2) 沖縄戦遺骨のDNA鑑定数と沖縄戦遺族のDNA鑑定登録数を何う (3) 那覇市内の激戦地と収骨可能な地域について (4) 那覇市内の遺骨収集を一括交付金事業として位置づけることについて (5) 遺骨収集を非営利の失業対策事業として「戦後処理事業NPO」に運営させることについて
		3 非常勤職員の待遇について	那覇市には非常勤職員が市民サービスの最先端で職員とともに頑張っているが、非常勤職員の待遇について何う

一般質問（３日目） 平成 25 年 9 月 18 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 男女平等行政について	(1) 審議会等への女性参画率について問う (2) 男女混合名簿の達成率について問う
		5 学校のトイレについて	バリアフリーの一環として学校のトイレの洋式化、多目的トイレの導入について提言してきたが現状と課題について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長